

科目名	デザインプロセス論 [インテリア] (卒業必修)		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2021年度 前期	単位数	2
担当教員	柴崎 恭秀		
内容および計画	<p>インテリア・建築デザインという行為（作業）は、無の状態から「かたち」にする段階がほとんど思考の世界であるため行為そのものを説明するのは難しい。しかしながら、施主の希望・条件、敷地・建物の条件、平面、立面、断面等の空間形態の構成、家具・色彩・材料の構成、設備・環境の構成、予算などいろいろな計画要素を試行錯誤しながらイメージを作り上げていくプロセスが存在し、それぞれの段階で思考作業を行っている。</p> <p>ここでは、そうした思考プロセスの断面を取り上げ、デザイン行為の考え方・進め方を学ぶ。また、デザインプロセス論演習（インテリア）と対の関係で授業を進めていく。</p>		
1	インテリア・建築デザインとは、デザインプロセス概要		
2	デザインプロセス概要		
3	デザインの調査・分析		
4	デザインの評価・判定		
5	生活行為と室空間、動線と配置		
6	デザインの構成手法		
7	空間の質		
8	発想からかたちへ		
9	空間のまとめ方と表現		
10	インテリアの人間工学		
11	テクスチャ(素材)と色		
12	インテリア・エレメントの計画		
13	インテリアの構造と空間の計画		
14	表現の技法(1)		
15	表現の技法(2)		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
適宜資料を配付する			
参考書	<p>1) 宮脇檀住宅設計塾 『眼を養い手を練れ』 彰国社 2) 中山繁信 『手で練る建築デザイン』 彰国社 3) 中山繁信 『世界で一番美しい住宅デザインの教科書 巨匠「宮脇 檀」に学ぶ家の仕組み』 エクスナレッジムック</p>		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	提出課題、レポート等	60	
	受講態度	20	
	出席状況	20	

学習到達目標	インテリア・建築デザインの思考プロセス及びデザイン行為の考え方・進め方をデザインプロセス論演習（インテリア）とともに学び身につける。
先修条件	
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として20年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	